



Cisco Webex ミーティング仮想デスクトップアプリ 39.3 の管理ガイド

[Cisco Webex Meetings 仮想デスクトップ アプリについて](#) 2

[Cisco Webex ミーティング仮想デスクトップアプリのアーキテクチャ](#) 2

[要件](#) 3

[Cisco Expressway](#) 14

[Cisco Unified Communications Manager \(CUCM\) の有効化](#) 14

[Cisco Webex Meetings Virtual Desktop App の展開とインストールのワークフロー](#) 17

[ホストされる仮想デスクトップワークフローの設定](#) 18

[コンポーネントワークフローのインストール](#) 18

[DNS サーバでの SRV レコードの展開](#) 19

[インストール](#) 21

[コマンドラインからの Cisco Webex Meetings Virtual Desktop App のインストール](#) 22

[Cisco Webex Meetings Virtual Desktop App の開始](#) 25

改訂：2019年5月21日、

Cisco Webex Meetings 仮想デスクトップアプリについて

Cisco Webex ミーティング仮想デスクトップアプリは、シンクライアントを使用している仮想デスクトップ環境の音声とビデオを最適化します。Windows、Linux、Unicon elux、HP ThinPro をサポートしているバージョンの Cisco Webex では、ホストはミーティングに接続し、ホストされた仮想デスクトップ (HVD) からロビーを管理することができ、ホストと出席者双方の優れたエクスペリエンスを保証することができます。ソフトウェアは、HVD を通さずに、すべてのオーディオおよびビデオストリームをシンクライアントおよび会議サーバ間で直接ルーティングします。

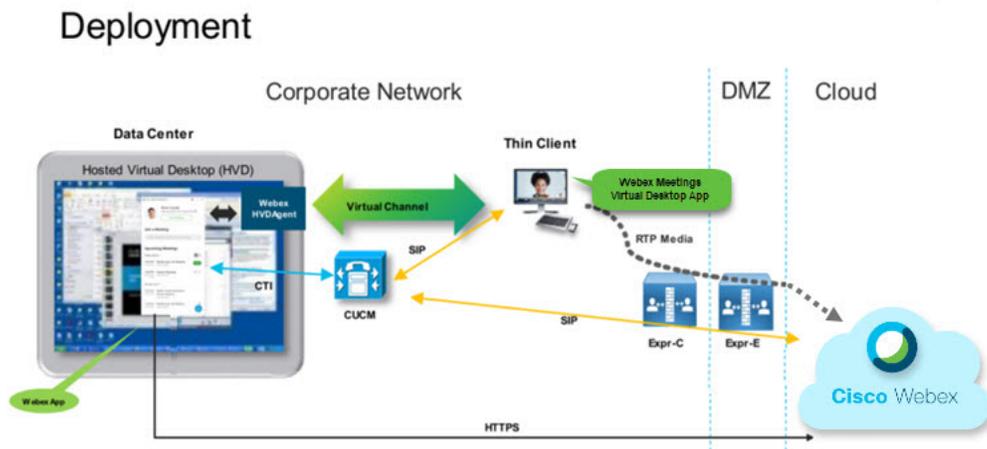


(注) ホストは、サイトが Cisco Webex Control Hub で管理されている場合、またはサイトが Webex サイト管理で管理され、コントロールハブにリンクされている場合に、Webex Meeting 仮想デスクトップアプリからミーティングを開始できます。詳細については、「[Cisco Webex サイトを制御ハブにリンクする](#)」を参照してください。

これらのドキュメントでは、次のトピックについて情報を提供しています。

Cisco Webex ミーティング仮想デスクトップアプリのアーキテクチャ

Webex ミーティング仮想デスクトップアプリは、ビデオデバイスに類似するアーキテクチャコンポーネントを提供します。



要件

Webex ミーティング仮想デスクトップアプリバージョン WBS39.3 を展開する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

- Webex ミーティング仮想デスクトップアプリでユーザを認証します
- ユーザは、Webex Control Hub で管理されている、または Webex Control Hub によってリンクされているアカウントを Webex サイトに持っている必要があります
- Cisco Unified Communications Manager (CUCM) および Cisco Expressway は、最小バージョン要件を満たしています
 - CUCM バージョン
 - 10.5 (2) 以降 (最小)
 - 11.5 (1) SU3 以降 (推奨)
 - Cisco Expressway C および E バージョン X8.10.1 以降

次の表に、以下の要件を示します。

- [Windows、Windows Server、および Windows Embedded](#)
- [Ubuntu](#)
- [ユニコン eLux](#)
- [HP ThinPro](#)

表 1: *Windows、Windows Server、および Windows Embedded*

コンポーネント	要件
Microsoft Windows ベースのシンクライアントハードウェア	<ul style="list-style-type: none">• インストールされている RAM 2 GB• 物理メモリの空き容量 128 MB• 空きディスク容量 256 MB• CPU モバイル AMD Sempron プロセッサ 3600 +、2 GHz Intel Core 2 CPU、または T7400 2.16 GHz• DirectX 11 互換 GPU• USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

コンポーネント	要件
Microsoft Windows ベースのシンクライアント OS	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 7 • Microsoft Windows 8 • Microsoft Windows 8.1 • Microsoft Windows 10
Windows Embedded Standard ベースのシンクライアントハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> • インストールされている RAM 2 GB • 物理メモリの空き容量 128 MB • 空きディスク容量 256 MB • CPU パフォーマンスは、最大ビデオ解像度に影響します。Windows Embedded Standard シンクライアントでは、予測される解像度は CPU によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • 最大 720p、クアドコア AMD GX-420ca SOC 2 GHz またはそれに相当する • 最大 240p、デュアルコア AMD G-T56N 1.65 GHz またはそれに相当する • デュアルコア VIA Eden X2 U4200 1 GHz または同様の CPU によるオーディオのみのサポート <p>(注) これらのハードウェア仕様は、予測される解像度のガイドラインにすぎません。その他の要因はビデオ解像度に影響することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DirectX 11 互換 GPU • USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用) <p>(注) Webex Meetings Virtual Desktop App for Windows は Microsoft .NET Framework または Java モジュールを必要としません。</p>
Hosted virtual desktop OS (サーバー側)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 7 • Microsoft Windows 8 • Microsoft Windows 8.1 • Microsoft Windows 10
Windows Embedded Standard ベースのシンクライアント OS	<ul style="list-style-type: none"> • Windows Embedded Standard 7 • Windows Embedded Standard 8 • Windows 10 IoT Enterprise

コンポーネント	要件
ホストされた仮想デスクトップの接続ブローカー	<ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenDesktop 7.15 およびそれ以降の 7.x バージョン • VMware ホライズン 7.0 およびそれ以降 7.x バージョン <p>(注) 電話機の接続に関する問題を回避するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 64 ビットの Windows を使用するシンクライアントでは、32 ビットコアリモートエクスペリエンスを選択します。 • 64 ビットマシンの VMware ホライズンインストール上で、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをインストールします。
Windows Server	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 2012 R2 • Microsoft Windows 2016
Windows Embedded	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft WES 7 • Microsoft WES 8 • Microsoft Windows IoT
Cisco Unified Communications Manager	<ul style="list-style-type: none"> • 推奨される CUCM Release 11.5 (1) SU3 以降 • 最小 CUCM リリース 10.5 (2)
アクセサリ	<p>サポートされる音声およびビデオ アクセサリのリストについては、「Unified Communications Endpoint and Client Accessories」 を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Webex Meetings 仮想デスクトップ アプリ ミーティングを開始または終了するためのアクセサリの使用、またはミーティングのミュートとミュート解除はサポートされていません。 • ホストが [ミーティングの終了] ボタンを使用してミーティングを終了した場合、ミーティングは新しいホストを割り当てずに、直接終了します

表 2: Ubuntu

コンポーネント	要件
Ubuntu thin クライアント: ハードウェア	<p>Ubuntu 14.04 32 ビットの LTS では、次のハードウェアがサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インストールされている RAM 2 GB • 物理メモリの空き容量 256 MB • 空きディスク容量 256 MB • CPU: AMD G-T56N 1.65 GHz、または Intel Core 2 Duo T7500 2.2 GHz • USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)
Ubuntu: ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> • Ubuntu 14.04 32-bit LTS
Hosted virtual desktop OS (サーバー側)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 7 • Microsoft Windows 10 • Microsoft Windows サーバ 2016
ホストされた仮想デスクトップの接続ブローカー	<ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenDesktop 7.15 およびそれ以降の 7.x バージョン • VMware ホライズン 7.5 およびそれ以降 7.x バージョン
Citrix 受信機または VMware ホライズンクライアント 2 ⁴ (シンクライアントにインストールされています)	<ul style="list-style-type: none"> • 13.8.0 以降 (32-ビットバージョンが必要) • VMware 4.4.0 以降 (32 ビットバージョンが必要)
Cisco Unified Communications Manager	<ul style="list-style-type: none"> • 推奨される CUCM Release 11.5 (1) SU3 以降 • 最小 CUCM リリース 10.5 (2)
アクセサリ	<p>サポートされる音声およびビデオ アクセサリのリストについては、「Unified Communications Endpoint and Client Accessories」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Webex Meetings 仮想デスクトップアプリ ミーティングを開始または終了するためのアクセサリの使用、またはミーティングのミュートとミュート解除はサポートされていません。 • ホストが [ミーティングの終了] ボタンを使用してミーティングを終了した場合、ミーティングは新しいホストを割り当てずに、直接終了します。

¹ Citrix 受信機または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカー向けのユーザインターフェイスが用意されています。

(PCoIP および Blaster)

表 3: ユニコン eLux

コンポーネント	要件
ユニコン eLux シンククライアント: ハードウェア	<p>シンククライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1.6 GHz デュアルコア プロセッサ • 2 GB RAM <p>次のクライアントハードウェアは、elux RP 5.7.0 でテストされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HP T520 • HP T620 デュアルコア/クアドコア • HP T630 デュアルコア/クアドコア • HP T730
Hosted virtual desktop OS (サーバー側)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 7 • Microsoft Windows 10 • Microsoft Windows サーバ 2016
ホストされた仮想デスクトップの接続ブローカー	<ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenDesktop 7.15 およびそれ以降の 7.x バージョン • VMware ホライズン 7.5 およびそれ以降 7.x バージョン
<p>Citrix 受信機または VMware ホライズンクライアント</p> <p>2</p> <p>(シンククライアントにインストールされています)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 13.8.0 以降 (32-ビットバージョンが必要) • VMware 4.4.0 以降 (32 ビットバージョンが必要)
Cisco Unified Communications Manager	<ul style="list-style-type: none"> • 推奨される CUCM Release 11.5 (1) SU3 以降 • 最小 CUCM リリース 10.5 (2)

コンポーネント	要件
アクセサリ	<p>サポートされる音声およびビデオ アクセサリのリストについては、「Unified Communications Endpoint and Client Accessories」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Webex Meetings 仮想デスクトップ アプリ ミーティングを開始または終了するためのアクセサリの使用、またはミーティングのミュートとミュート解除はサポートされていません。 • ホストが [ミーティングの終了] ボタンを使用してミーティングを終了した場合、ミーティングは新しいホストを割り当てずに、直接終了します

² Citrix 受信機または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカー向けのユーザインターフェイスが用意されています。

(PCoIP および Blaster)

表 4: HP ThinPro

コンポーネント	要件
HP ThinPro 6.2 : ハードウェア	<p>シンクライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1.6 GHz デュアルコア プロセッサ • 2 GB RAM <p>HP ThinPro 6.2 を伴うシンクライアントを使用した、サポートされているデバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> • HP T520 • HP T620 デュアルコア/クアドコア • HP T630 デュアルコア/クアドコア • HP T730
HP ThinPro platform イメージ	HP ThinPro 6.2: T7X62022
Hosted virtual desktop OS (サーバー側)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows 7 • Microsoft Windows 10 • Microsoft Windows サーバ 2016
ホストされた仮想デスクトップの接続ブローカー	<ul style="list-style-type: none"> • Citrix XenDesktop 7.15 およびそれ以降の 7.x バージョン • VMware ホライズン 7.5 およびそれ以降 7.x バージョン

コンポーネント	要件
Citrix 受信機または VMware ホライズンクライアント 2 ³ (シンクライアントにインストールされています)	HP ThinPro 6.2 の場合 HP ThinPro の画像には、Citrix と VMware が含まれています。 <ul style="list-style-type: none"> • ICA クライアント: 13.8.0 以降 (32-ビットバージョンが必要) • VMware 4.4.0 以降 (32 ビットバージョンが必要)
Cisco Unified Communications Manager	<ul style="list-style-type: none"> • 推奨される CUCM Release 11.5 (1) SU3 以降 • 最小 CUCM リリース 10.5 (2)
アクセサリ	サポートされる音声およびビデオ アクセサリのリストについては、「 Unified Communications Endpoint and Client Accessories 」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Webex Meetings 仮想デスクトップ アプリ ミーティングを開始または終了するためのアクセサリの使用、またはミーティングのミュートとミュート解除はサポートされていません。 • ホストが [ミーティングの終了] ボタンを使用してミーティングを終了した場合、ミーティングは新しいホストを割り当てずに、直接終了します

³ Citrix 受信機または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカー向けのユーザインターフェイスが用意されています。

(pcoip および Blaster)

ポート要件

クライアントは、次の表に示すポートおよびプロトコルを使用します。クライアントとサーバ間にファイアウォールを展開する場合、次のポートおよびプロトコルを許可するようにファイアウォールを設定します。



(注) Webex ミーティング仮想デスクトップアプリのクライアントインストーラーは、ファイアウォールルールを追加しません。エンドポイントで Windows ファイアウォールを無効にするか、または例外を追加して、Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリを許可します。

ポートおよびプロトコル

次の表は、クライアントが使用するポートおよびプロトコルを示します。クライアントとサーバ間にファイアウォールを展開する場合、次のポートおよびプロトコルを許可するようにファイアウォールを設定します。

表 5: ポートおよびプロトコル

ポート	アプリケーション層プロトコル	トランスポート層プロトコル	説明
構成			
6970	HTTP	[TCP]	TFTP サーバに接続し、クライアント設定ファイルをダウンロードします。
6972	HTTPS	[TCP]	TFTP サーバに接続し、Cisco Unified Communications Manager リリース 11.0 以降用のクライアント コンフィギュレーション ファイルを安全にダウンロードします。
53	DNS	UDP	ホスト名の解決。
3804	CAPF	TCP	ローカルで有効な証明書 (LSC) を IP フォンに発行する。このポートは、Cisco Unified Communications Manager Certificate Authority Proxy Function (CAPF) 登録用のリスニング ポートです。
8443	HTTPS		Cisco Unified Communications Manager へのトラフィック
コミュニケーションマネージャのシグナリング			
2748	CTI	TCP	デスクフォンの制御に使用されるコンピュータテレフォニーインターフェイス (CTI)。
5060	SIP	TCP	Session Initiation Protocol (SIP) コールシグナリングを提供する。
5061	SIP オーバー TLS	TCP	SIP over TCP がセキュアな SIP コールシグナリングを提供する。(セキュアな SIP がデバイスで有効な場合のみ使用。)

ポート	アプリケーション層プロトコル	トランスポート層プロトコル	説明
5070 ~ 6070	BFCP	UDP	ビデオ画面共有機能の Binary Floor Control Protocol (BFCP)
音声またはビデオ メディアの変換 (Voice or Video Media Exchange)			
16384 ~ 32766	RTP/SRTP	UDP	音声、ビデオ、BFCP ビデオデスクトップ共有で使用される Cisco Unified Communications Manager メディアポートの範囲。
Cisco Webex Meetings 仮想デスクトップアプリ			
443	HTTPS	[TCP]	会議用の Cisco Webex Meeting に接続する。

オープンポート要件

Webex ミーティング仮想デスクトップアプリケーションクライアントをシンクライアントにインストールします。次に、[設定]、[コミュニケーションマネージャ シグナリング]、および音声またはビデオメディアの交換用のポートリストを開きます。

Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリケーションとエージェントをHVD上にインストールします。次に、[設定 (Configuration)] および Webex ミーティングの 仮想デスクトップアプリ リストを開きます。

表 6: VMware 統合型アクセスゲートウェイポートリスト

方向性	トランスポート プロトコル	接続先ポート	目的
外部ネットワーク => UAG	TCP/UDP	443	ブラストエクストリーム
		4172	PCoIP
		8443	HTML ブラスト
内部ネットワーク (管理者) => UAG	TCP	9443	残りの API
	[TCP]	80/443	エッジゲートウェイ

方向性	トランスポート プロトコル	接続先ポート	目的
UAG => 内部ネットワーク (VDI)	TCP	443	Connection サーバ (Connection Server)
	TCP/UDP	4172	PCoIP
	[TCP]	32111	USB リダイレクト
	TCP/UDP	22443	ブラストエクストリーム
	[TCP]	9427	MMR/CDR
	TCP/UDP	53	DNS クエリ (DNS Query)

表 7: Citrix Netscaler VPX ポートリスト

外部ネットワーク => NetScaler	TCP	80	Citrix 受信機からの接続
	TCP/UDP	443	
内部ネットワーク => NetScaler	TCP	80	Citrix 受信機からの接続
	TCP/UDP	443	StoreFront Server / Citrix 受信者からの接続からの認証コールバック
	[TCP]	22	NetScaler 管理
		80	
		443	
		3010	
3008			

NetScaler=>内部ネットワーク (VDI)	TCP/UDP	53	DNS クエリ (DNS Query)
	UDP	123	NTP
	TCP	389	LDAP 照会
		636	
	TCP	443	Citrix StoreFront サーバー
		80	
		808	
	TCP	80	Citrix デリバリー コントローラ
		443	
	TCP/UDP	1494	HDX ICA
		2598	
	UDP	16500-16509	
3224-3324			

サポートされるコーデック

表 8: サポートされている音声コーデックとビデオコーデック

オーディオコーデック	ビデオコーデック
G.722	H.264/AVC
722.1 (24 および 32k) G.722.1 は Cisco Unified Communications Manager 8.6.1 以降でサポートされます。	
G.711 A-law	
G.711 u-law	
G.729a	
Opus Opus は Cisco Unified Communications Manager 11.0 以降でサポートされます。	

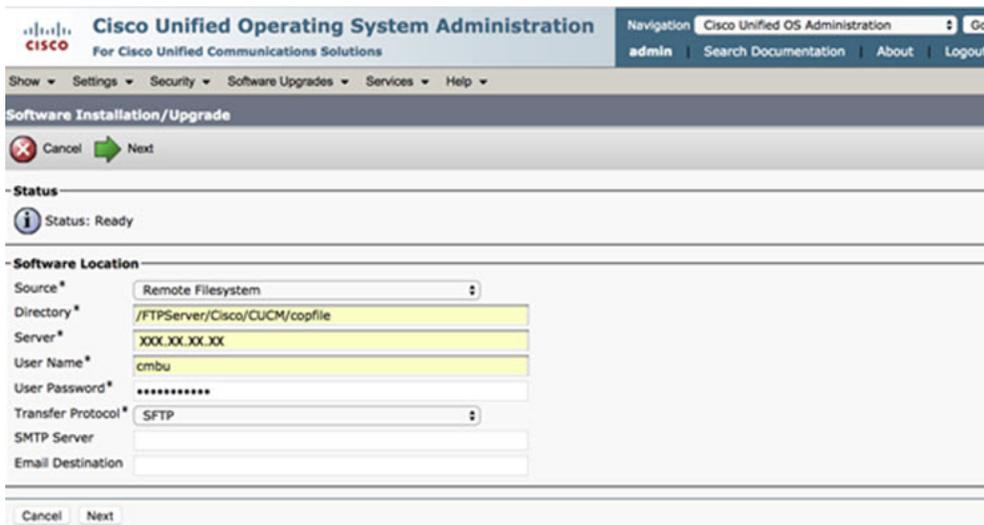
Cisco Expressway

Cisco Expressway ソリューションは、コア (Expressway-C) およびエッジ (Expressway-E) で構成されています。Expressway C および E は、仮想プライベート ネットワークを必要とせずにリモート ビデオおよびモバイルクライアントとプライベート通信プラットフォームとの通信を可能にします。

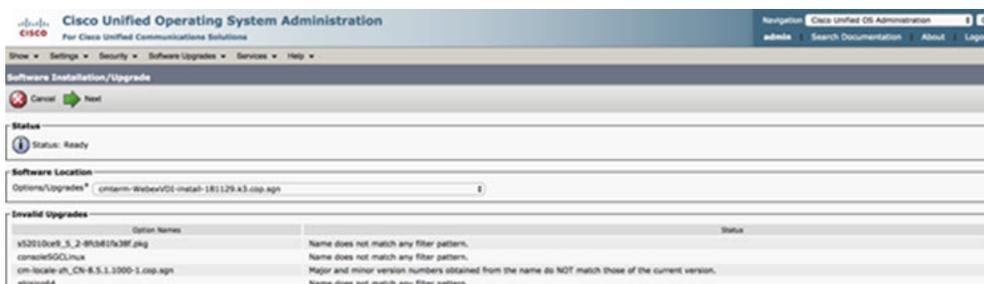
CUCM を使用して、CUCM に登録されているエンドポイントとは関係なく、Webex と通信するように、Expressway C および E を展開します。Cisco Expressway の設定の詳細については、『[Cisco Expressway を使用したモバイルおよびリモートアクセス](#)』を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager (CUCM) の有効化

1. COP ファイル [cmterm-WebexVDI-install-181129](#) を Cisco.com からダウンロードします。
2. ソフトウェアの場所の詳細を入力し、[次へ (Next)] をクリックします。



3. オプション/アップグレードに COP ファイル名を入力します。



Option Names	Status
x52010v9_5_2-8f3d17a3f2.png	Name does not match any filter pattern.
consoleSGLinux	Name does not match any filter pattern.
cm-locare-ih_Ch-8.5.1.3300-1.cop.sgn	Major and minor version numbers obtained from the name do NOT match those of the current version.
stovp64	Name does not match any filter pattern.

4. サーバを選択し、コントロールセンターで [移動 (Go)] をクリックします。次に、サービスを再起動します : Cisco Unified CM、Cisco CTI Manager、および Cisco TFTP。

CISCO For Cisco Unified Communications Solutions

Alarm ▾ | Trace ▾ | Tools ▾ | Snmp ▾ | CallHome ▾ | Help ▾

Control Center - Feature Services

▶ Start ● Stop ▶ Restart ↻ Refresh Page

- Status:

i Ready

- Select Server

Server* Go

Performance and Monitoring Services

	Service Name	Status:
<input type="radio"/>	Cisco Serviceability Reporter	Started
<input type="radio"/>	Cisco CallManager SNMP Service	Started

Directory Services

	Service Name	Status:
<input type="radio"/>	Cisco DirSync	Started

CM Services

	Service Name	Status:
<input type="radio"/>	Cisco CallManager	Started
<input type="radio"/>	Cisco Unified Mobile Voice Access Service	Started
<input type="radio"/>	Cisco IP Voice Media Streaming App	Started
<input type="radio"/>	Cisco CTIManager	Started
<input type="radio"/>	Cisco Extension Mobility	Started
<input type="radio"/>	Cisco DHCP Monitor Service	Started
<input type="radio"/>	Cisco Intercluster Lookup Service	Started
<input type="radio"/>	Cisco Location Bandwidth Manager	Started
<input type="radio"/>	Cisco Directory Number Alias Sync	Started
<input type="radio"/>	Cisco Directory Number Alias Lookup	Started
<input type="radio"/>	Cisco Dialed Number Analyzer Server	Started
<input type="radio"/>	Cisco Dialed Number Analyzer	Started
<input checked="" type="radio"/>	Cisco Tftp	Started

5. 1. デバイスモード**Cisco Webex VDI SVC Framework** を使用して、ユーザ用の新しい WSF デバイスを追加します。



(注) WSF デバイスを追加する手順は、CSF デバイスを追加する手順と同じです。

2. このデバイスで**CTI からのデバイス制御を許可する**チェックボックスを選択します。
3. エンドユーザのページに CTI アクセス許可を追加します

Permissions Information

Groups
 Standard CCM End Users
 Standard CTI Allow Control of All Devices
 Standard CTI Enabled
[View Details](#)

Roles
 Standard CCM End Users
 Standard CCMUSER Administration
 Standard CTI Allow Control of All Devices
 Standard CTI Enabled
[View Details](#)

Conference Now Information

Enable End Users to Host Conference Now

CUCM に接続するためのユーザーの承認

会議サイトと CUCM の資格情報の両方が暗号化され、ローカルストレージにキャッシュされます。再起動のたびに、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリは常に、キャッシュされた資格情報が最初に試行されます。キャッシュされた資格が無効になった場合は、認証を再実行するように求められます。



(注) すべての設定または資格情報はHVD のみにキャッシュされ、シンクライアントにはキャッシュされません。

導入	ユーザ エクスペリエンス
会議サイトと CUCM の両方が SSO 対応になっています	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子メールを入力して、サービス検索を開始します。 2. ユーザ名とパスワードをブラウザに入力します。 3. プレミーティング UI が表示されます。
会議サイトは SSO に対応していますが、CUCM は SSO 対応ではありません	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子メールを入力して、サービス検出を開始します。 2. ユーザ名とパスワードをブラウザに入力します。 3. プレミーティング UI が表示されます。 4. ポップアップウィンドウに CUCM の資格情報を入力します。

導入	ユーザ エクスペリエンス
会議サイトは SSO 対応ではありませんが、CUCM が SSO 対応であるか、SSO が有効になっていない可能性があります	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電子メールを入力して、サービス検索を開始します。 2. 会議アカウントの資格情報の [ユーザ名 (Username)] と [パスワード (Password)] を入力します。 3. プレミーティング UI が表示されます。 4. 会議の資格情報と異なる場合は、CUCM の資格情報を入力します。

Cisco Webex Meetings Virtual Desktop App の展開とインストールのワークフロー

前提条件：

CUCM がインストールされていて、動作していることを確認します。



(注) CUCM がインストールされていない場合、インストール手順の詳細について、『[Cisco Unified Communications Manager](#)』の「[インストールガイド](#)」を参照してください。

1. 導入に影響する可能性がある制限または制限の詳細については、[Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリ リリースノート](#)を参照してください。
2. システム要件を確認して、必要なハードウェアとソフトウェアがそれらに対応していることを確認します。



(注) すべての要件を満たしていない場合は、展開が機能しない可能性があります。

3. ポート要件の確認。
4. DNS サーバで SRV レコードを設定する。管理者が DNS 上に SRV レコードを設定していない場合は、コマンドラインで Webex ミーティングをインストールして引数を設定します。詳細については、[DNS サーバでの SRV レコードの展開](#)を参照してください。
5. CUCM を設定 (COP ファイルをインストールし、サービスを再起動します) : Cisco unified CM、Cisco CTI Manager、Cisco TFTP、ユーザーおよび WSF デバイス追加。CUCM 設定の詳細については、[Cisco Unified Communications Manager \(CUCM\) の有効化](#)を参照してください。



(注) WSF デバイスの専用ディレクトリ番号を作成します。

6. データセンターにホストされた仮想デスクトップを作成して設定します。ホストされた仮想デスクトップ (HVD) が Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリをインストールできる状態になっていることを確認します。詳細については、[ホストされる仮想デスクトップワークフローの設定](#)を参照してください。
7. シンククライアントを設定します。詳細については、「シンククライアント OEM から入手可能なマニュアル」を参照してください。
8. シンククライアントとホストされる仮想デスクトップ上に、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリケーションクライアントコンポーネントをインストールします。詳細は、[コンポーネントワークフローのインストール](#)を参照してください。Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリエージェントおよびその他の必要なソフトウェアを HVD にインストールした後、その HVD を複製できます。

ホストされる仮想デスクトップワークフローの設定

1. 管理者権限を使用して、新しいユーザとして Microsoft Windows HVD にログインします。
2. HVD を社内ドメインに加えます。



(注) ドメイン管理者の権限が必要です。

3. HVD への Citrix または VMware アクセスを設定します。
4. HVD 上で、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをインストールします。



(注) Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリは、現在のリリースの英語版オペレーティングシステムをサポートしています。英語以外のオペレーティングシステムを使用している場合は、次のコマンドラインを使用して Webex ミーティングのデスクトップアプリをインストールします。

```
msiexec.exe/i ciscowebeex 会議 setup .msi Clear = 1
```

5. HVD 上で、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリエージェントをインストールします。
6. HVD 画像を複製します。



(注) Microsoft Windows HVD イメージのクローンを作成するためのベストプラクティスの詳細については、Citrix または VMware 製品のマニュアルを参照してください。

コンポーネントワークフローのインストール

1. Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリのダウンロード。

2. Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリエージェントとクライアントをダウンロードします。
3. HVD 向け Webex ミーティング仮想デスクトップアプリクライアントをシンクライアントにインストールします。



(注) Webex ミーティング仮想デスクトップクライアントをシンクライアントにインストールする場合は、HVD を使用して接続を切断します。

4. HVD 上で、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをインストールします。



(注) Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリは、現在のリリースの英語版オペレーティングシステムをサポートしています。英語以外のオペレーティングシステムを使用している場合は、次のコマンドラインを使用して Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをインストールします。

```
msiexec.exe/i ciscowebex 会議 setup .msi Clear = 1
```

5. HVD 上で、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリエージェントをインストールします。

DNS サーバでの SRV レコードの展開

クライアントは、サービス ドメインでレコードのネーム サーバをクエリーします。

異なるサービス ドメインを使用するユーザのサブセットが組織に複数存在する場合、サービス ドメインの各 DNS ゾーンに SRV レコードを導入します。

必要に応じて次の SRV レコードを作成します。

- `_cisco-uds._tcp.example.com` (内部 DNS 上)
- `_collab-edge._tls.example.com` (on 外部 DNS)

内部レコード

次の表では、クライアントがサービスを検出できるように、内部ネーム サーバでプロビジョニング可能な SRV レコードのリストを示します。

サービス レコード	説明
<code>_cisco-uds</code>	<p>CUCM バージョン 10 以降の場所を提供します。</p> <p>重要 複数の CUCM クラスタを使用した環境では、クラスタ間検索サービス (ILS) を設定する必要があります。ILS は、クライアントがユーザのホーム クラスタを検索して、サービスを検出できるようにします。</p>



(注) SRV レコードでは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) をホスト名として使用します。

次に、_cisco-uds SRV レコードの例を示します。

```
_cisco-uds._tcp.example.com    SRV service location:
priority      = 1
weight       = 5
port         = 8443
svr hostname  = cucm1.example.com
```

```
_cisco-uds._tcp.example.com    SRV service location:
priority      = 2
weight       = 20
port         = 8443
svr hostname  = cucm2.example.com
```

外部レコード

次の表に、Expressway for Mobile and Remote Access の設定の一部として、外部ネームサーバにプロビジョニングが必要な SRV レコードの一覧を示します。

サービス レコード	説明
_collab-edge	Cisco VCS Expressway または Cisco Expressway-E サーバーの場所を提供します。 SRV レコードでは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) をホスト名として使用します。 (注) クライアントには、Cisco VCS Expressway または Cisco Expressway-E サーバーが提供する Cookie を使用するために FQDN が必要です。

次に、_collab-edge SRV レコードの例を示します。

```
_collab-edge._tls.example.com  SRV service location:
priority      = 3
weight       = 7
port         = 8443
svr hostname  = vcse1.example.com
```

```
_collab-edge._tls.example.com  SRV service location:
priority      = 4
weight       = 8
port         = 8443
svr hostname  = vcse2.example.com
```

インストール

Windows への Webex ミーティング仮想デスクトップアプリのインストール

手順

- ステップ 1** HVD 上で Webex Windows および Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリエージェントをダウンロードしてインストールします。
 - ステップ 2** Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをダウンロードしてシンクライアントにインストールします。
 - ステップ 3** HVD で、Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリを起動します。
-

Ubuntu への Webex ミーティング仮想デスクトップアプリのインストール

手順

- ステップ 1** HVD 上で Webex Windows および Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリエージェントをダウンロードしてインストールします。
 - ステップ 2** Webex ミーティング仮想デスクトップアプリクライアント Debian (.pkg) パッケージをダウンロードし、Ubuntu にインストールします。
 - ステップ 3** HVD で、Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリを起動します。
-

Unicon eLux 上に、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをインストールします

手順

- ステップ 1** HVD 上の Webex Windows および Webex ミーティング仮想デスクトップアプリエージェントをダウンロードします。
 - ステップ 2** Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリクライアントをダウンロードします。Elias ツールを使用して、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリクライアントを含むイメージを作成します。シンクライアントにイメージを展開します。イメージの作成方法またはシンクライアントの更新方法の詳細については、Unicon Web サイトから入手可能な「Elias」のマニュアルを参照してください。
 - ステップ 3** HVD で、Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリを起動します。
-

HPThinPro上で、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをインストールします

手順

ステップ 1 HVD上でWebex WindowsおよびWebex ミーティングの仮想デスクトップアプリケーションエージェントをダウンロードしてインストールします。

ステップ 2 Webex ミーティング仮想デスクトップアプリケーションクライアント Debian (deb) パッケージ、および Cisco-Webex ミーティング仮想デスクトップアプリ <xx.x xar> ファイルを HP から入手します。ファイル名の <xx.x x> 変数は、Webex ミーティング仮想デスクトップアプリケーションリリース番号です。HP サイトでファイルを検索する方法については、HP のサポートにお問い合わせください。

ステップ 3 シンクライアント上にWebex ミーティング仮想デスクトップアプリケーションクライアントを手動でインストールするには、ファイルを USB スティックにコピーします。

ステップ 4 シンクライアントで、USB スティックから手動で、または大規模導入用 HP デバイスマネージャーを使用して、次の順序でWebex ミーティング Virtual Desktop アプリファイルをインストールします。インストールの順序

- cisco-jvdi 12.0. x-pre-reqs-thinpro 6.2.0 (hp1d. xar) をインストールします。
- VDI. deb パッケージ用の Cisco jabber ソフトフォンをインストールします。

大規模導入の詳細については、HP から入手可能な HP デバイスマネージャー 4.7 のマニュアルを参照してください。

ステップ 5 HVD で、Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリを起動します。

コマンドラインからの Cisco Webex Meetings Virtual Desktop App のインストール

開始する前に、ローカルの管理者権限でログインします。

1. コマンドライン ウィンドウを開きます。

2. 次のコマンドを入力します。

```
msiexec.exe/i CiscoWebexMeetingsSetup .msi
```

3. パラメータ = 値のペアとしてコマンドライン引数を指定します。

4. msiexec.exe/i CiscoWebexMeetingsSetup. msiargument = value

5. コマンドを実行して、Webex ミーティングの仮想デスクトップアプリをインストールします。

インストール コマンドの例

Webex ミーティング仮想デスクトップアプリをインストールするには、次の例を確認してください。msiexec.exe/I CiscoWebexMeetingsSetup.smi Clear=1VOICE_SERVICES_DOMAIN=Voiceservice.domein.com

CLEAR=1 — 既存のブートストラップ ファイルを削除します。

表 9: 認証引数

引数	値	説明
TFTP	IP アドレス ホスト名 FQDN	TFTP サーバのアドレスを指定します。 値として次のいずれかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">• ホスト名 (<i>hostname</i>)• IP アドレス (<i>123.45.254.1</i>)• FQDN (<i>hostname.domain.com</i>) Cisco Unified Communications Manager がオーセンティケータとして設定されている場合に、この引数を指定します。
CTI	IP アドレス ホスト名 FQDN	CTI サーバのアドレスを設定します。 Cisco Unified Communications Manager がオーセンティケータとして設定されている場合に、この引数を指定します。
CCMCIP	IP アドレス ホスト名 FQDN	CCMCIP サーバのアドレスを設定します。 この引数を指定します。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco Unified Communications Manager をオーセンティケータとして設定する。• CCMCIP サーバのアドレスが TFTP サーバアドレスと同じではありません。 クライアントは両方のアドレスが同じであれば、TFTP サーバアドレスで CCMCIP サーバを検索できます。

引数	値	説明
VOICE_SERVICES_DOMAIN	ドメイン	<p>この設定が指定された場合、クライアントはサービスディスカバリとエッジ検出の目的で、VOICE_SERVICES_DOMAIN の値を使用して次の DNS レコードを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • _cisco-uds • _collab-edge <p>この設定は任意です。指定しない場合、DNS 記録は、ユーザによるメールアドレス入力、またはキャッシュされたユーザ設定から照会されます。</p>
LANGUAGE	10 進数の LCID	<p>Cisco Jabber for Windows で使用される言語のロケール ID (LCID) を 10 進数で定義します。値は、サポートされる言語に対応する、10 進数の LCID です。</p> <p>たとえば、次のいずれかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1033 は英語です • 1036 はフランス語です <p>指定可能な言語の完全なリストについては、「言語の LCID」トピックを参照してください。</p> <p>この引数は省略可能です。</p> <p>値を指定しない場合、Webex Meetings Virtual Desktop App は現在のユーザーの地域の言語をデフォルトとして設定します。</p> <p>地域言語は、[コントロールパネル (Control Panel)] > [地域および言語 (Region and Language)] > [日付、時刻、または数字形式の変更 (Change the date, time, or number format)] > [形式 (Formats)] タブ > [形式 (Format)] ドロップダウンで設定します。</p>

Cisco Webex Meetings Virtual Desktop App の開始

HVD でWebex ミーティングの仮想デスクトップアプリを開始します。次に、シンクライアント上の HVD およびクライアントが自動的に起動します。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>